

ほほえみの会

2011.7.10

ほほえみの会の総会が行われ、会も17年目に入りました。子供の病気に悩む方がいれば近くで寄り添えるように、毎月の例会だけは同じ場所同じ時間に継続をしていきます。今年もよろしくお願いいたします。

<192回 6/12 ほほえみの会>

2名の参加でした。

<193回 7/10 ほほえみの会 総会>

30名が参加しました。昨年度の活動報告、会計報告が承認され、新年度役員は再任され継続されることが決まりました。

代表 池田恵一 副代表 小嶋隆 会計 小平具子 世話人 渡井通夫 堀内雅士 杉山禎 鈴木啓之

また、病院の最新情報について堀越先生から報告がありました。

▽ 講演「放射線治療と晩期障害」

県立静岡がんセンター 陽子線治療科 藤 浩 医師

放射性物質は自然界にもあるが、原発の事故では、核分裂で出るセシウムやヨードが問題となる。ヨードは神経芽腫の治療にも使うが半減するのに8日かかる。静岡茶で問題になっているのがセシウムで、セシウムは半減するのに30年かかる。放射線は問題があっても、医療ではそれ以上のメリットがあるので使用する。

放射線は重要な原子、染色体にあたると細胞の生死に関わる影響を与える。軽度ならばおかしな細胞が増える、それが発ガンとなる。大量にあたると細胞は死滅する。

放射線の単位や強さにグレイやベクレルがあるが、体への影響はシーベルト (Sv) で表す。汚染で問題となった静岡茶は0.03msv、胸部X線0.05msv、自然界年間

2.4msv、胸部CT6.9msv 100msvで発ガンリスクは0.5%増加するといわれる。1000人のうち200人ががんで亡くなるとしたら、そのうちの1人が放射線の影響となる。

これをどう判断するか、だが福島事故を必要以上に怖がることはない。

発ガンリスクで一番は年齢。30歳代では109人/10万人、80歳代では2096人/10万人。日本でガン患者増加の最大要因は高齢化。

環境被曝と治療による被曝では、放射線の量が違うので、発ガンリスクの推定方法も異なる。しかし、最近では治療による発ガンリスクも計算できるようになってきた。

<陽子線治療>

体の内部深いところのがん細胞だけに照射をする技術で、ミリ単位で細胞に当てることが出来る。陽子線は体の深部で線量のピークを保つ性質がある。

小児ガンに効果は大きく、海外では優先的に治療をしている。が、日本では小児ガン治療に利用しているのは静岡がんセンターと筑波の2箇所だけ。

装置には60億円かかるが、フランスや韓国では治療費は無料、アメリカは保険適用、日本は保険非適用。静岡がんセンターでの治療には220万から280万円の自己負担がかかる。(静岡県民は20万円減)

がん治療のすべてのケースに効果的であるわけではない。

▽ 「小児ガンと診断されたときに見るビデオ」

丸紅基金の助成金を受けて制作を進めていますビデオがまもなく完成します。一部を試写しました。完成は9月頃になります。今後、病院で初診の方に配布をしますが、ほほえみの会の皆さんにも希望者にお分けします。完成したらご案内します。

▽小児がん親の会 連絡会 (2011.7.2)

「がんの子供を守る会」が主催する「第15回小児がん親の会連絡会」が東海大学で開かれ、茨城から九州まで24の団体から50名が参加しました。

冒頭「がんの子供を守る会」の近藤理事からお話がありました。守る会は、昭和43年に設立され、全国親の会連絡会は平成8年から開催されているそうです。今回会場を提供していただいた東海大学でも、かつては親の面会時間は1週間に3時間だけだった

(ちなみに静岡こども病院は1日2時間でした) そうです。何かおかしいと思ったことは、親の会を通じて変えていける。今後も意見や希望を出してより良い会にしていきたいということでした。

東海大学の矢部先生から「造血幹細胞移植」について講演があった後、グループに分かれて現状や、悩みについて話し合いを行いました。

- ・ 親の会の世代交代はできたが熱心な先生が定年退職して以降、医師が話を聞いてくれない(慈恵医大)
- ・ 時代の流れの中で親の会はどう活動すべきか悩む(日本大学)
- ・ CLSやボランティアとどう対応するか悩む(東邦大)
- ・ 会に人が集まらない(独協大)
- ・ 去年会を立ち上げたが病院とのコミュニケーションが難しい(九州がんセンター)
- ・ 親の会のチラシを病院が渡してくれるようになった(女子医大)
- ・ 協力的な先生はいるが医師の序列があって上手くいかない(東海大)
- ・ 病院建て直しで親の会として要望をしている(兵庫こども病院)

また、がんの子供を守る会からは、いま全国の小児がん病院の集約化の動きもあるが、親の会の活動として何が大事か、制度作りも必要ではないかとの話があり、親の会の必要性が話し合われました。

- ・ 入院中のお母さんのセラピーのためにも必要
- ・ 情報はネットでも得られるがウソが多い
- ・ 体験談(本人も含め)を直接聞けるのはいい
- ・ 1人でも必要な人がいれば継続すべき

終了後、東海大学附属病院の敷地内に併設されている、遠隔地からの患者さんと家族のための宿泊施設を見学しました。1LDK10部屋のマンションで宿泊料は1日1300円、日数制限はないということです。施設の掃除や食事会は40名のボランティアが面倒を見てくれているということです。

▽ 会費納入のお願い

ほほえみの会は厳しい財政状況です。郵便局の振替口座に年会費1000円の振込みをお願いします。寄付金も歓迎します。

振替口座 加入者名は「ほほえみの会」 口座番号は「00870-3-158976」

振込手数料の安い振替口座を新設しました。郵便局から振り込む場合の手数料はこれまでの525円から120円になります。

次回 は8月14日(日) 11時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560

E-mail アドレス k_likeda@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>